

よい知らせをひろめる

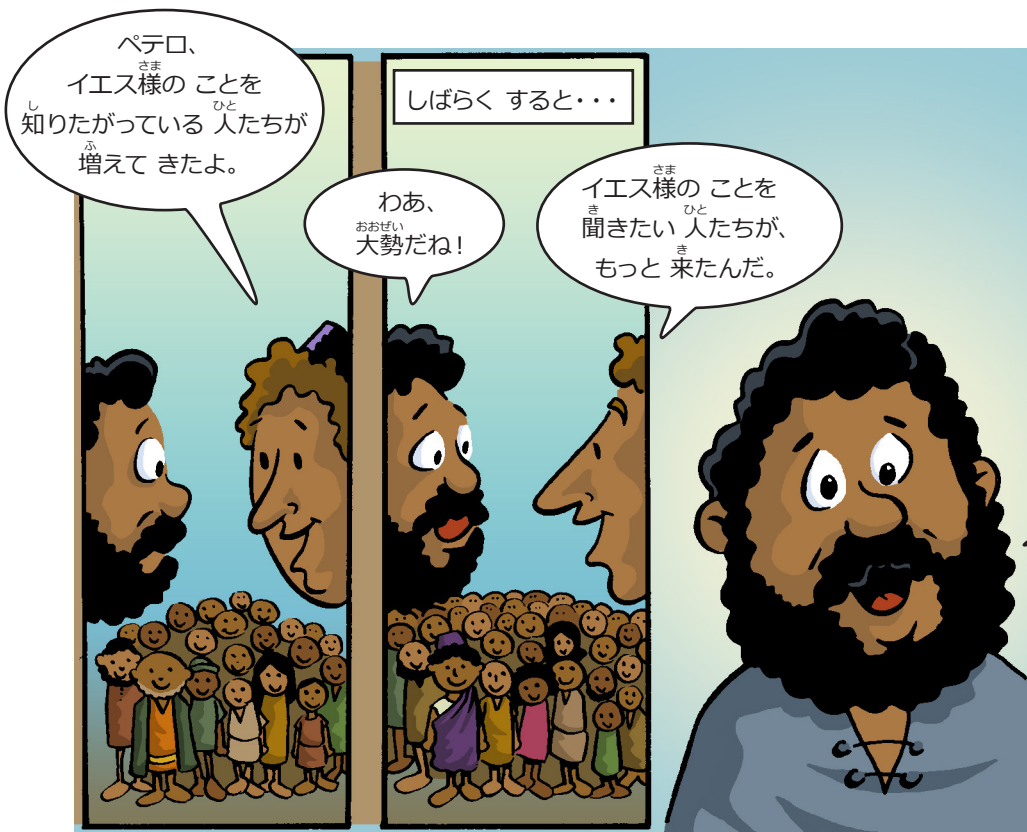
イエス様は、天の父の元へ帰る前に、弟子たちに、後で聖霊を送るからと言いました。その聖霊が弟子たちに、神様について、また神様の愛について、人々に伝える力を与えてくれると約束してくださったのです。¹ また聖霊は、イエス様が地上にいた時に教えてくださったあらゆることも思い出させてくれるということでした。²

「聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、行く先々でわたしのことを人々に伝え、わたしの証人となるであらう。」(使徒行伝 1:8参照)

「主の名を呼び求める者は、みな救われるであらう。」³



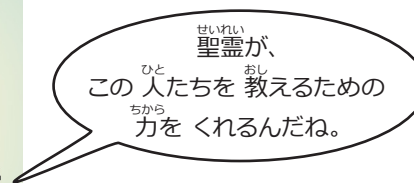
「聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、行く先々でわたしのことを人々に伝え、わたしの証人となるであらう。」(使徒行伝 1:8参照)



こんなこともありました。使徒ペテロとヨハネが、祈るために神殿に入ろうとしていた時のことです。足の不自由な物こいが、ほどこし(お金)を求めました。すると、ペテロは彼にこう言いました。「わたしには金や銀はない。しかし、わたしにあるものをあげよう。イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい！」

そのしゅんがん、その人の足は強められ、彼は立ち上がることができました。立ち上がるだけではなく、聖書には、彼が歩いたり、喜びで飛びはねたりして、神様を賛美したと書かれています。⁵ (このお話のくわしいことは、「使徒行伝：足の不自由な人をいやす」に書かれているので、読んでみましょう。)

聖霊の力を受け取った後、弟子たちは大だんにイエス様のことを人々に教えました。その様子が書かれたお話は、聖書にたくさんあります。弟子たちが、様々な国から来た外国人の信者たちに説教していたというお話もあります。弟子たちの言葉を聞いた外国人たちはおどろいて声を張り上げました。「一体、これはどういうことだ？ この人たちはみんな、ガリラヤ人ではないが。それなのに、わたしたちの生まれ故郷の言葉を話しているなんて！」⁴





- 1 しとぎょうでん さんしやう
使徒行伝 1:8参照
- 2 よハネによる ふくいんしや さんしやう
福音書 14:26参照
- 3 こうご やくせいしや しとぎょうでん
口語訳聖書、使徒行伝 2:21
- 4 しとぎょうでん さんしやう
使徒行伝 2:7-8参照
- 5 しとぎょうでん さんしやう
使徒行伝 3:1-11参照

ほかに、弟子たちが、多くの国の人たちがイエス様を知る手助けをしたお話が、たくさんあります。聖霊の助けによって、弟子たちは、勇がんに、そして大団に、神様の愛や神様のやり方を人々に語りました。弟子たちは数多くの国を旅して回り、良い知らせを伝えました。そして、大勢の人たちがイエス様のことを知ったのです。

あなたも、イエス様の証し人になれますよ。特別な言葉はいりません。重要人物になる必要もありません。周りの人々への押し方や、人にかける言葉、人を大切にすることはすべて、イエス様の愛を表すことに繋がります。

イエス様の愛は、あなたの心をどれほど元気づけ、安心させてくれますか？ それを、周りの人々にも伝えるのです。そのために必要な力を、聖霊に求めましょう。そうすれば、あなたも、昔イエス様の弟子たちがしたように、イエス様の愛という良い知らせを広めることができるようになりますよ。